

どの子どもも輝き
笑顔いっぱい
とねがわ幼稚園

とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体



トラブルを乗り越え成長する子ども達

園長 笛木 哲

幼稚園は、多くの子にとって初めての集団生活の場です。平成最後の一年間、園児と共に生活した中で感じたのは、『同世代の子と出会い、共に生活をするからこそ、園児は大きく変容する(成長=人との関わり方や社会性を身につける)』ということです。

その成長の過程は、「雨が上がれば虹が立つ、嵐過ぎれば鳥が舞う」(石原裕次郎「勇者たち」の歌詞から)と言えます。1学期には、叩く、噛む、つねる、ぶつかる、追いかける…と嵐が吹きまわりました。理由を聞くと、友達との関わり方が分からず叩いた、仲間に入れて欲しいから追いかけた等、大人が思うような悪意があつてのことではありません。特定の子を叩いたり、泣かされたりしても追いかけてくる子のそばにいるのは、その子が「好き」という理由でした。年少児の場合、言葉やコミュニケーション能力が未発達で、手を出してしまうこともありました。もちろん、悪意があろうとなかろうと、好きだとしても、我が子が叩かれ、怪我をさせられて、不快な思いをしない親はいません。しかし、幼児期のトラブルは、お互い様の場合が多くあることも事実です。



一人だと涙が出そうになるけれど、二人でいると楽しいな。

私がありがたかったのは、こうしたトラブルが起きたとき、「園の中で起きたトラブルは園で解決していただければ結構です。」と言ってくくださった方の言葉です。家に帰ったお子さんが、友達に「叩かれた」「意地悪された」と話せば、きっとご心配になるでしょう。そんな時は、すぐに幼稚園に相談してください。園では改めて両者の話を聞き、子ども同士の話し合いの場を設けます。「叩かれた」という事実の背景にある理由やその時の気持ち、状況を整理(周りにいた友達の手も借りて)することが、本当の解決に結びつきます。

それは私たちが、子どもには子どもなりの「解決する力」をもっていると信じるからです。そして、自ら解決に向かう力を育てることこそ、これからの変化が激しく、多様で複雑な価値観を共有し合う新しい時代に、必要な力だと考えます。

園では、聞き取りの結果を正確に、誠実に保護者にお伝えします。ご家庭では、悲しい思いをした子どもの気持ちに寄り添いつつも、わが子の話だけでは見えない面があるということを忘れずに、ちょっと距離を置いて見守っていただけるとありがたいです。

2学期が始まる頃には、青空に鳥が舞うように多くのトラブルは消え、友達を思う優しい心が育ち、叩かれた痛みを乗り越えて、たくましく成長した子どもに出会いました。子どもは、子どもの中で生きるからこそ、育ちます(よりよく変容します)。

とねがわ幼稚園が育てる子

進級式で、「本年度は『きらきら（どの子も輝き、笑顔いっぱい）とねっ子』を育てます。」と宣言しました。その中身は以下の通りです。

- 一 目を見て挨拶 「はい」と返事 はきもの揃え 姿勢よく座ります。
- 二 約束を守り、嘘はいいません。
- 三 何にでも挑戦し、最後まであきらめません。
- 四 **自分がされていやなことは人にしません。言いません。**
- 五 **どんなときでも、自分で考え、自分でやってみます。**
そして、明日は、もっともっと輝く子になります。

先週、友達を傷付ける言葉を言ってしまった園児のお母さんから、「園長先生、昨夜、息子の前で『きらきらとねっ子』を読みました。四【自分がされていやなことは人にしません。言いません】を読んだとき、息子は、はっとした顔になりました。そして、友達に、言ってはいけないことをしてしまったのだと気づきました。」とのお話を伺いました。とねがわ幼稚園の子を評価する『物差し』として、『きらきらとねっ子』をご家庭でも活用していただけるのだ、という手応えを感じました。

園児が輝く時 ※毎日、HP「園長ブログ」で「その日の写真」を掲載しています。よろしかったらご覧ください。

		
<p>どんなお話しているの？ 見つめ合って、耳元にそっとお口を近づけて。笑顔が広がるおしゃべりは、たくさんの幸せがつまっているのでしょう。</p>	<p>めだかの水槽の前で 額を近づけ、のぞき込み、おしゃべりをしています。「合わせて3匹」「お腹がすいています」「めだかになりたい」</p>	<p>ぎゅっと抱きしめられて 「うれしくて、担任の先生の胸に飛び付いたら、ぎゅっと抱きしめてくれたよ」「もっともっとうれしい気持ちになったよ」</p>
		
<p>ひよこ組がスタート 4月24日、2歳児教室「ひよこ組」の入会式を行いました。幼稚園への入門期を、充実した保育でいっぱい楽しんで欲しいと願います。</p>	<p>自然体験が感性を育てる ジャガイモの生長を見た帰り道、タンポポ畑で寄り道を楽しみます。自然に直接触れて季節の変化を感じ、多くの発見をしました。</p>	<p>当番活動が始まりました 年長児は、係活動を行います。出席確認係さんは、朝一番にクラスの出席人数を佐々木事務長さんに報告します。</p>